演奏とお話による

宮城道雄における手付の世界

日本の伝統音楽である三曲には、「手付」という独特の作曲法があります。これは西洋音楽にはない概念ですが、地歌箏曲の歴史において、とても重要な役割を担いました。そして、宮城道雄は手付においてもさらに新しい展開をもたらし、より時代に即した作品を生み出していったのです。そこで、第一部では「手付」にまつわる様々なお話をし、第二部で『尾上の松』など関連する作品を鑑賞いたします。

令和3年 4月24日(土)

午後2時開演 (1時30分開場)

宮城道雄記念館 東京都新宿区中町35

入場料 2500円 ※当日売なし・要事前申込

尾上の松
比良
春の海

お話 千葉優子 (宮城道雄記念館 資料室室長)
演奏(箏) 帯名久仁子
長谷川愛子
遠藤千晶
(尺八) 安島瑶山

※ お申込み、お問合せは・・・

宮城道雄記念館まで

TEL 03-3269-0208

MAIL kinenkan-info@miyagakai.gr.jp

交通：都営大江戸線 牛込神楽坂 (A2 出口) 歩 3 分 東西線神楽坂 (神楽坂口) 歩 10 分
JR 飯田橋 (西口)・有楽町線 / 南北線飯田橋 (B3 出口) 歩 10 分